

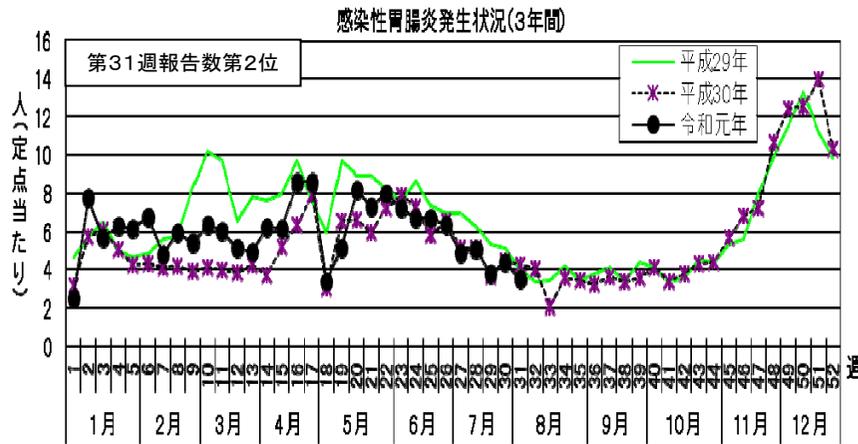
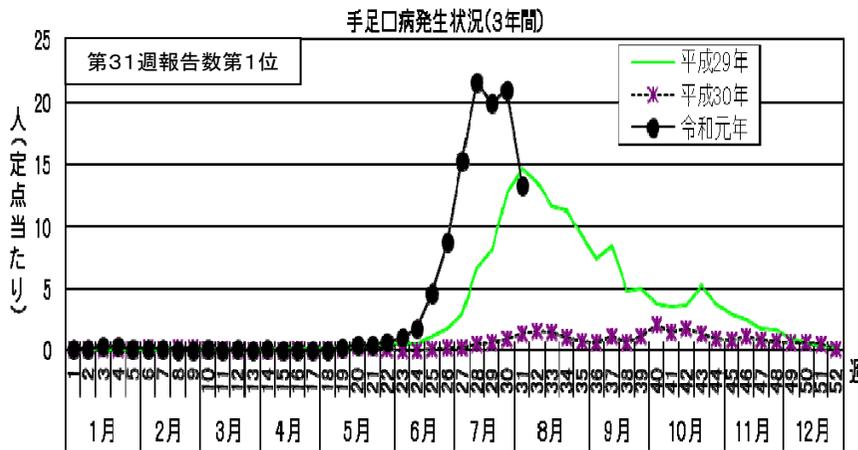
# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和元年7月29日（月）～令和元年8月4日（日）〔令和元年第31週〕の感染症発生状況

第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は13.26人と前週（21.00人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.53人と前週（4.36人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.12人と前週（4.47人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

★RSウイルス★  
 アルエスくん



## 夏も気を付けたい感染症～RSウイルス感染症～

RSウイルス感染症は、発熱や咳、鼻水を主症状とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の児が、少なくとも1度は感染するといわれています。  
 川崎市では第28週から定点当たり報告数が急増しており、第31週（7月29日～8月4日）の定点当たり報告数は1.53人と前週よりやや減少したものの、依然として患者報告数が多い状況が続いています。

### RSウイルス感染症とは？

- 【感染経路】咳や鼻水などによる飛沫・接触感染
- 【潜伏期間】2～8日（典型的には4～6日）
- 【症状】発熱・咳・鼻水などの風邪様症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、咳がひどくなり、喘鳴や呼吸困難などの症状がでて、細気管支炎や肺炎へと進展するお子さんもいます。

### 予防対策

手洗いの徹底



飛沫感染予防として、大人はマスク着用

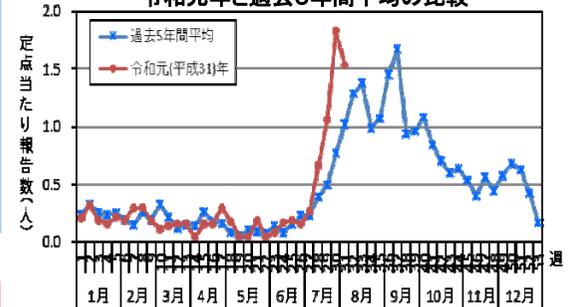


おもちゃは消毒後、必ず流水で洗浄

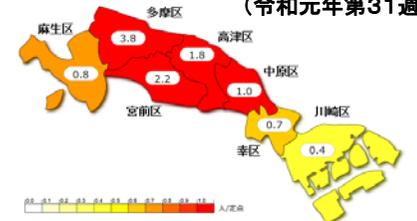


生後3か月以下の乳児やリスクの高い基礎疾患を有する小児（特に早産児、生後24か月以下で心臓や肺に基礎疾患のある小児、神経・筋疾患や免疫不全の基礎疾患を有する小児）では重症化することがあります。

川崎市におけるRSウイルス感染症発生状況  
 ー令和元年と過去5年間平均の比較ー



川崎市におけるRSウイルス感染症マップ  
 (令和元年第31週)



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)